

## インタビュー：信長貴富さん

**信長先生：ご出身の地域・都市を教えてください。ご自身のルーツはどの程度作曲家としての作品に影響していますか？**

出生地は東京です。両親は広島県出身で、母は被爆者なので、子どもの頃から原爆の恐ろしさについて話を聞いて育ちました。その影響で私の合唱曲には、平和への祈りを含むテキストを扱ったものが多いです。

**作曲家になった理由、プロフェッショナル（専業）になるまでの道のりを教えてください。**

子どもの頃から楽譜を見るのが好きで、いつの間にか自分で音符を書くようになりました。私が通っていた小学校に合唱指導に熱心な音楽教師がいて、彼との出会いで音楽が好きになったことも大きな理由です。

学生時代は将来プロの作曲家になるつもりはなく、音楽専門の学校には進みませんでした。ピアノも作曲も先生に師事して学んだことはなく、すべて独学でやっていました。大学を卒業し、三年間は公務員として勤めていました。そのあいだも作曲は続けていて、いくつかの作曲コンクールに入賞したことをきっかけに、次第に作曲専業になっていきました。

**声楽（合唱）作品だけを作曲されますか、器楽作品も書かれますか。（歌詞があること以外の）合唱作曲ならではの魅力とは？**

作品数としては圧倒的に合唱曲の割合が大きいです。器楽作品もあります。規模の大きなものとしてはマリンバ協奏曲（<http://tiny.cc/yp96vz>）や、吹奏楽作品（<https://youtu.be/icVPgXyk8Uc>）があります。またオーケストラを伴う合唱曲もいくつかあります。

合唱曲ならではの魅力についてですが、人間の声には器楽にはかなわない感情表現の幅広さがあり、そこが最大の強みだと思います。また、子ども、青年、大人・・・と、

それぞれの人生の段階でしか表出できない声の色があり、これも合唱の面白いところだと思います。

**先生も歌手ですか？**

若いころは合唱団に所属して歌っていましたが、今は歌う機会はありません。時々指揮をする機会があります。

**合唱作曲でお好きなトピックは何ですか？ また、その理由は。**

さまざまな作曲手法に関心があり、答えづらい質問ですが、一時期サウンドスケープ的な手法を好んで使ったことがあります。それに関連して、人工的にエコーを作り出す手法や、ヘテロフォニーにも関心が広がりました。

他方で、シンプルにメロディーラインの美しさを示すことや、言葉に合致したメロディーラインを作ることに大に関心があります。

**先生の音楽的なベースとなっているのは、音楽史でいうとどの時代／音楽家／作曲家／音楽ですか。**

私の場合、そういう「核」のようなものはないように思っています。一番の関心事は合唱に限らず現代の作曲家たちが何を考え、何を発信しているか、です。日本の作曲家では三善晃に影響を受けています。

**先生にとって合唱とは？**

私の人生そのものですね。

**今後の合唱界に望むことは何ですか？**

私は日本以外の合唱事情をよく知らないのですが、日本のことについて言います。合唱はどちらかというと「聴いて楽しむ」より「参加して楽しむ」というジャンルになっています。ですので、特に合唱をしていない人々をコンサートホールに連れてくるのがなかなか難しいです。オーケストラやオペラと同様に、さまざまなバックボーンを持

った人々が合唱のコンサートに来てもらえるように、合唱指揮者も合唱歌手も作曲家も考えていく必要があると思っています。そのことは合唱人口の拡大にもつながると思っています。

また、合唱文化の発展のためには少年少女や青年たちに合唱の素晴らしさを知る機会、合唱に参加する機会をできるだけたくさん設けていくことが必要です。そのためには国の政策を動かす運動も必要になってくるでしょう。合唱に関わる人々が、自分自身の活動を楽しむだけでなく、社会的な視点を持つことが重要だと思っています。

**現在取り組んでいるプロジェクトはありますか。**

2022年1月に長野県松本市で初演されたオペラ『山と海猫』が2023年12月23・24日に同じく松本で再演されます。また、この先にも合唱オペラやグランドオペラを作曲する予定があります。これまでどおり合唱作品の作曲にも意欲的に取り組みながら、舞台芸術の幅広い分野で自分ができることをやっていきたいと思っています。



信長貴富（のぶながたかみ）は1971年、日本生まれ。1994年上智大学文学部教育学科卒業。これまでの主な受賞歴：1994・95・99年朝日作曲賞（合唱曲）、1998年奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第1位、2000年現音作曲新人賞入選（室内楽曲）、2001年日本音楽コンクール作曲部門（室内楽曲）第2位など。主な作品は、《新しい歌》（混声／男声合唱）、《Fragments ～特攻隊戦死者の手記による～》（歌曲／合唱曲）、《マリンバ協奏曲 混線するドルフィン・ソナー》、《オペラ「山と海猫」》など

**信長さんが選ぶ合唱作品**

絶え間なく流れてゆく（無伴奏混声合唱のための『廃墟から』より第一章）

演奏動画：<https://youtu.be/zF7DUPSij38>

楽譜：<https://www.panamusica.co.jp/en/product/11744/>

春愁三首 無伴奏混声合唱のための

演奏動画第1曲：<https://youtu.be/HUGDDYI5Qio>

演奏動画第2曲：[https://youtu.be/HgJeS-G\\_Ccg](https://youtu.be/HgJeS-G_Ccg)

演奏動画第3曲：[https://youtu.be/j\\_dUKmNe4JE](https://youtu.be/j_dUKmNe4JE)

楽譜：<https://www.panamusica.co.jp/en/product/18258/>

かんかんかくれんぼ 無伴奏童声合唱のための

演奏動画：<https://youtu.be/6FjtoDz70Tk>

楽譜：<https://www.panamusica.co.jp/en/product/8392/>

くちびるに歌を

演奏動画 (Orchestra ver.)：<https://youtu.be/XBzC3c65XuI>

演奏動画 (Piano ver.)：[https://youtu.be/gFMJv\\_9CD48](https://youtu.be/gFMJv_9CD48)

楽譜：<https://www.panamusica.co.jp/en/product/11759/>

水平線上のグロリア (混声合唱とピアノのための『交響する二つのグロリア』より)

演奏動画：<https://youtu.be/suZ8q1MTGv4>

楽譜：<https://www.panamusica.co.jp/en/product/26989/>

日本の楽譜販売店パナムジカによる、信長さんの合唱作品の出版リストが作成されています。

[https://www.panamusica.co.jp/en/appeal/takatomi\\_nobunaga/](https://www.panamusica.co.jp/en/appeal/takatomi_nobunaga/)